

第3回茅野市総合計画審議会会議結果報告書

会議の名称	第3回茅野市総合計画審議会		
開催日時	平成29年5月15日（月） 18時30分～20時10分		
開催場所	市役所8階大ホール		
公開・非公開の別	公開	・非公開	傍聴者の数 0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
	<p>○議事</p> <p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 茅野市を取り巻く時代の流れとこれからのまちづくりの課題について</p> <p>(2) 第5次茅野市総合計画体系（案）について</p> <p>(3) パブリックコメントの実施について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p> <p>○議事録</p>		
事務局	1 開会		
会長	<p>会長あいさつ</p> <p>これからのまちづくりの課題としては、まず、少子高齢化と人口減少は避けては通れません。そして、もう少し目線を下げてみると、所得、資産、生活における格差が広がっています。企業では、倒産件数が非常に減っている一方で、廃業・休業が平成28年の統計で史上最高でした。このような時代の潮流を捉えるとともに、前回のみなさんの意見が盛り込まれた本日の資料を基に、さらに議論を深めてまいります。</p>		
事務局	2 協議事項		
	<p>(1) 茅野市を取り巻く時代の流れとこれからのまちづくりの課題について</p> <p>・・・資料1、資料2に基づき説明・・・</p>		
委員	<p>例えば観光、移住、産業、コミュニティ、子育てなど、様々な面でリンクしているはずですが、これまでの行政の取組は、分野間等の連携が薄いと感じます。</p> <p>今後は、より大きな視点を持ち、中心となる分野だけでなくそこに関連する分野も含めて、総合的に取り組む必要があります。総合的な取組の中で、異分野同士の掛け合わせなどによりイノベーションが起き、まちの魅力につながります。</p> <p>また、コミュニティの関係で、消防団などに関わる若い人が少ないと実感しています。若い人が入らないと、コミュニティの維持が困難となるため、具体的な取組が必要です。</p>		

副会長	<p>茅野市でも人口減少は避けられない状況であり、若い世代をいかに呼び込めるかが重要です。</p> <p>そのためには、雇用、小地域、家庭教育などにおいて、女性が活躍できる場とそれをサポートできる体制の整備が必要です。保育等の支援においては日本で一番だと思しますので、それを含めて未就園、未就学の子どもがいても働ける環境づくりが大切です。そして、それが茅野市独自の取組となり、対外的にアピールすることで、若い世代が転入してくるサイクルにつながります。</p>
委員	<p>IoT という言葉が流行っていますが、実態がわかりにくいのが現状です。しかし、実際は非常に簡単なものも多く、例えばトイレの空き状況が携帯で見られるというのも IoT です。あまり難しく考えずに、簡単なものでもまちづくりにうまく活用することによって、まちの魅力を高めることができます。</p> <p>現在取り組んでいる空き店舗や空き工場の活用については、内職ワークスペースをしています。商店街の空き店舗に、地元の企業に仕事をもち込み、高齢者、主婦、若い引きこもり気味の人などに集まっていただき、作業をしています。そのような活動が、空き店舗の活用につながり、人を呼び、観光にもつながり、簡単な IoT の活用によって、若い人が魅力を感じてくれれば、まちの魅力の向上につながります。</p>
委員	<p>人口減少の対策は非常に難しく、茅野市の総合戦略の取組も評価するが、メリハリや優先順位をつけて行う必要があります。</p> <p>また、工場誘致は簡単ではありませんが、住んでいてよかった、働いてよかったというまちづくりを進めることによって、企業にとっても魅力あるまちとなり、誘致につながる可能性が高まります。</p>
委員	<p>10 年前の地方への移住はほとんどが I ターンでした。今は U ターン J ターンが 6~7 割です。そうした状況を踏まえると、公立化される諏訪東京理科大学や高校と連携した地域の良さや地域密着を高める取組を行うことで、U ターンや J ターンのきっかけを若いうちに作るといった取組が必要です。</p> <p>また、企業誘致が難しい時代になっており、誘致と合わせて創業・起業の支援の必要性も高いと思います。</p>
委員	<p>必要インフラをどう捉えるかという問題がありますが、インターネットなどの情報インフラは整ってきており、簡単な IoT 等の活用により、市民生活がよりよくなることはとてもいいことです。そして、今ある文化から別の文化を生み出すといった点で情報ストラクチャーも非常に重要です。</p> <p>また、計画づくり全体に関して、課題があってそれを解決するという点では暗い話になりがちですが、楽しく前向きな方向でも考えていきたいです。</p>
委員	<p>これからまとめる計画が、いずれ予算として落とし込まれていることになるが、収入と支出のバランスをとった上で、今まで出た意見を総合的にやっていけば、非常にいい予算が組めると思います。</p>

	<p>課題整理においては、人口減少・少子高齢化など暗い話ではあるが、逆転の発想で前向きに捉えることも必要です。</p> <p>また、今後、広域的な連携を強めることがますます重要となりますが、事務的な部分だけではなく、例えば公共施設の選択や配置のあり方など、行政経営面における連携強化が重要です。</p>
委員	<p>子供は女性からしか生まれないため、この土地に女性が生活していることが非常に重要になります。現状としては、女性が自分のライフスタイルで安心して暮らしていくための、専門性を活かした女性の働く場づくりが足りないと感じます。ものづくりの風土、諏訪中央病院、諏訪東京理科大等の地域資源を受け、理系女子を育てる環境づくりなどの取組が必要です。</p>
事務局	<p>(2) 第5次茅野市総合計画体系（案）について</p> <p>・・・資料1、資料3に基づき説明・・・</p>
委員	<p>この体系案については、パブリックコメントや全体ミーティングの意見により変わることがありますか。また、議会への対応はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>今後の意見等を踏まえて、修正や変更することがあります。</p> <p>議会全員協議会においては、節目で報告することとしており、次回は、パブリックコメントの実施について、6月の議会全員協議会で報告予定です。</p>
委員	<p>前回の「課題の整理や対応の方向等が漠然としていて良くないのではないか」といった意見について、個別のプロジェクトの中で対応するという事務局からの回答ですが、構想の中で何が課題でどういう対応の方向性となるのかを明確にせず、個別のプロジェクトは進められないのではないのでしょうか。構想の中で、きちんと課題が明確化され、それに対応する方向性が示されることで、初めて計画として成り立つと思います。</p> <p>また、課題のあぶり出しが不十分なまま、総合計画の大きな体系ができていますが、それでよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在は、基本構想という大きな枠組における課題の整理と対応の方向性の整理を行い、体系（案）をまとめています。今後、パブリックコメントや全体ミーティングでの意見をいただくとともに、基本構想の対応の方向性等を踏まえて、基本計画で各分野における現状と課題の掘り下げを行い、取組の方針等を策定していきます。その骨子については審議会で意見をいただく予定としており、第1回の審議会で示したスケジュールでは8月頃からの予定です。</p> <p>今後は、そうした意見を踏まえて、基本構想における対応の方向性や体系などについて、見直しを行っていきます。</p>
委員	<p>もう一点、国の施策と重複している対応の方向性がありますが、その意図を記載する必要があるのではないのでしょうか。</p>

事務局	<p>国が取り組んでいく事業等の中でも、市として取り組む必要があるものを含めて項目出しをしています。その目的や具体的な取組については、今後の審議会や基本計画策定等での意見等を踏まえて、さらに整理をします。</p>
委員	<p>「まちの活力の向上を図る仕組みづくり」の中で、ものづくり技術のことが記載されていますが、もう少し広く、自然環境を活かした観光産業や、新しいビジネスが生まれる仕組みづくりについて記載するべきです。</p> <p>パブリックコメントの実施にあたっては、資料2がこのままだと細かくて見づらい部分があるので、もう少し見やすく工夫して資料提示してほしいです。</p>
委員	<p>「まちの活力の向上を図る仕組みづくり」の中で、観光を基軸としたまちづくりとありますが、現在進められているDMOの構築などの取組との整合性はどのように図っていきますか。別のプロジェクトがそれぞれ動いているように感じられます。</p> <p>なお、資料2の外国人旅行者（観光客）数の推移のグラフでは、平成27年度までが掲載されていますが、平成28年度は前年比減少となっており、トレンドに変化がみられるため、平成28年度まで掲載するべきです。</p>
事務局	<p>この計画は、関係団体とも協議の上、策定を進めていきます。観光については、特に観光振興ビジョンの策定の中で具体的な合意形成や対応の方向性を整理します。</p> <p>また、必要に応じて総合計画の策定情報等の共有も行います。</p>
委員	<p>ここでもう一度、総合計画の全体構成やスケジュールについて、共有する必要があります。</p> <p>市民プランでは分野別で課題を挙げ、下から積み上げて作りましたが、第5次総合計画では、その実績をもとに、こうした大きな方向性を投げかけ、意見をもらいながら全体を深化させていくといったやり方と理解しています。</p> <p>総合計画の枠組みとして、基本構想で大きな方針や枠組みを定め、基本計画で具体的な取組に落とし込んでいくので、その点を共有する必要があります。</p>
会長	<p>第5次茅野市総合計画の構成とこれからの流れについて、再度事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>総合計画の構成は、基本構想と基本計画の2本立てで策定します。そして、この審議会では、基本構想の策定について検討を行います。</p> <p>総合計画全体としては、具体的に事業を展開していくための基本計画にあたる分野別計画も同時並行で策定します。その中で各分野における数値目標を設定し、主要な事業の項目出しを行います。それが一体となって総合計画となります。</p> <p>具体的には、産業分野では、農業振興ビジョン、商業や工業の振興ビジョン、また観光振興ビジョンといった個別の計画を、抱き合わせで策定を</p>

	<p>します。</p> <p>大きな課題を踏まえた上で、各分野の課題整理を行いますので、基本構想の課題等を共有するための全体ミーティングを5月24日に開催します。</p> <p>第1回目の審議会資料の中で提示しましたが、8月頃から、基本計画の各分野における課題や対応方針等について、審議会へ資料提出し、意見をいただく予定としています。</p>
委員	<p>課題のあり方について、現在の資料内容は、外部的な要因によるものが多いです。例えば市の財政事情等などの内部的な要因を踏まえて、政策等の重点化を判断していく必要があります。</p>
事務局	<p>市の税収も右肩下がり傾向です。現在高齢化が進んで、社会保障費が伸びています。今後、取組の重点化や今ある事業等の見直しも非常に重要となります。</p> <p>行政経営分野の計画の中で、今後10年間の財政計画を立てていく予定です。当審議会においても財政推計を提示する予定です。</p>
会長	<p>当初、市と打ち合せる中では、おおよその枠組みの案を審議会で示し、意見をもらうという趣旨でした。今後、分野別の全体ミーティングやパブリックコメントなどのご意見をいただく中で、さらに整理をしていきたいという趣旨です。</p> <p>本日いただいた貴重なご意見を踏まえて、進め方も検討をします。</p>
事務局	<p>(3) パブリックコメントの実施について</p> <p>・・・資料4に基づき説明・・・</p>
会長	<p>パブリックコメントの実施について、ご意見やご質問はありますか？</p>
会長	<p>無いようですので、この形で進めてください。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月24日（水）総合計画策定全体ミーティングの開催案内</li> <li>・次回審議会について、7月中旬～下旬ごろにパブリックコメントの結果報告の予定。</li> </ul>
副会長	<p>4 閉会</p> <p>委員のみなさんから様々な意見を出していただき、多方面から考えさせていただいています。全体ミーティングもあるので、またご意見をお聞きしたいと思います。それでは第3回茅野市総合計画審議회를締めます。</p>

以上